

次期「情報化施工推進戦略」 の策定のポイント(案)

1. 現行戦略では

- 情報化施工を推進する理由として、建設施工を取り巻く課題を示し、それらに対応する情報化施工技術のメリットを整理している。
- 官民とそれらに共通する情報化施工の普及に向けて克服すべき課題を整理し、その対応方針を明らかにしている。
- 課題と対応方針を踏まえ、特に大きな柱として取り組むべき目標として、重点目標を定め、その達成に向けたロードマップを示している。
- 課題への対応を着実に実行していくための実行体制と実施方法を示している。

2. 次期戦略では

- ・ 現行戦略をベースに、建設施工の課題を踏まえ情報化施工を推進する目的を明確に示し、その目的の達成に向けて現行戦略の達成状況を踏まえた、次期戦略の期間で取り組むべき具体的な重点目標を新たに定める。
- ・ まず、東日本大震災などによる建設施工を取り巻く課題の変化を整理するとともに、情報化施工の普及のメリットと情報化施工推進の目的を示す。また、情報化施工の現状を示し、現行戦略期間における情報化施工の普及推進の達成状況を整理する。
- ・ 次に、中長期的な情報化施工の将来像とそれに向けて次期戦略の期間に目指すべき姿を示し、次期戦略の期間で克服すべき課題とその対応方針を示す。
- ・ そして、次期戦略の期間における特に大きな柱として取り組むべき、新たな重点目標を具体的に設定する。
- ・ 最後に、次期戦略の継続的な実効性を確保するために、実行体制と活用を進めるための環境整備を含めた施策を示す。

次期 情報化施工推進戦略 構成(案)

次期 情報化施工推進戦略 構成(案)

現行 情報化施工推進戦略 構成

はじめに	
第1章 建設施工の課題と 情報化施工推進の 目的	1. 建設施工を取り巻く課題
	2. 情報化施工の普及によるメリット
	3. 情報化施工推進の目的
第2章 情報化施工推進を 巡る現状	1. 国内外における動向
	2. 情報化施工技術の状況
	3. 前推進戦略の実績と課題
第3章 情報化施工のある べき姿	1. 情報化施工のあるべき姿
	2. 推進戦略期間で目指す姿
第4章 推進戦略期間にお ける重点目標	1. 重点目標
	2. ロードマップ
第5章 推進戦略の継続的 な実効性の確保	1. 実行体制
	2. 継続的な実効性を確保する施策
	3. 推進戦略のフォローアップ
おわりに	

1. はじめに	
2. 情報化施 工技術と普 及のメリット	(1) 情報化施工とは
	(2) 情報化施工技術の状況
	(3) 建設施工を取り巻く課題
	(4) 情報化施工の普及によるメリット
3. 情報化施 工を巡る国 内外の動向	(1) 国内における最近の取り組み
	(2) 海外における最近の取り組み
	(3) 標準化の動向
4. 情報化施 工の普及に 向けた課題 と対応方針	(1) 工事発注者の課題
	(2) 施工企業等の課題
	(3) 共通課題
	(4) 個別課題と対応方針
5. 重点目標 とロードマップ	(1) 重点目標
	(2) ロードマップ
6. 推進戦略 の実行とフォ ローアップ	(1) 実行体制
	(2) 実施方法
7. おわりに	

3. 建設施工の課題と情報化施工推進の目的、情報化施工のあるべき姿

①建設施工を取り巻く状況や社会資本整備へのニーズの変化等を踏まえて、現状の建設施工の課題を整理する。

より確かな品質の確保、低い生産性の改善、安全性の向上、熟練者不足への対応、社会資本の老朽化への対応、環境負荷の低減 等

②それらの課題を踏まえて、情報化施工の普及によるメリットを整理し、情報化施工を推進する目的とは何かを改めて整理・確認する。

③その目的を達成するための情報化施工技術、その適用分野、あるいは、仕組み（制度・基準）等について、検討・整理する。

例えば、

- ・ 現在は土工・舗装工を中心に推進をしているが、他工種で期待される情報化施工技術や関連する技術の整理
- ・ 建設生産システム全体の生産性を向上させる仕組み（制度・基準）等
（例） 情報化施工に関連するデータの利活用

④中長期的な情報化施工のあるべき将来の姿とそれに向けて次期戦略の期間において目指すべき姿について整理し、設定する。

4. 次期戦略の重点目標(案)

重点目標① 情報化施工の普及の拡大

普及状況等を勘案して重点的に普及を推進する情報化施工技術の設定、適用範囲の拡大するための目標の設定を検討する。また、普及の進んだ技術を定着させるための目標の設定を検討する。

重点目標② 地方公共団体への展開

公共事業全体の約7割（金額ベース）を占める地方自治体への普及を促進するための目標の設定を検討する。

重点目標③ 新たに普及を推進する技術・工種の拡大

新たな技術の研究開発・活用や新たに普及を推進する技術・工種を取り入れていくための目標の設定を検討する。

重点目標④ 情報化施工に関するデータの利活用

情報化施工で得られる情報の活用等その利活用場面の拡大に関して、CIM導入の検討と連携し、建設生産システム全体の生産性の向上を目指して、目標の設定を検討する。

重点目標⑤ 情報化施工に関する教育・教習の充実

人材育成の状況を踏まえた新たな目標の設定を検討する。

次期 情報化施工推進戦略 重点目標(案)

- 重点目標① 情報化施工の普及の拡大
- ・ 情報化施工にかかるコストの適正化
 - ・ 普及対象となる情報化施工技術およびその適用範囲の拡大
(一般化推進技術に加え、実用化検討技術等も対象に普及を図る)
 - ・ 情報化施工機器・システムの普及 (台数 (地域バランス)、融資制度 等)
 - ・ 施工管理、監督・検査要領の整備
 - ・ 新たに取り組む企業への支援
- 重点目標② 地方公共団体への展開
- ・ 地方公共団体へのPR・周知
 - ・ 地方公共団体への支援
- 重点目標③ 新たに普及を推進する技術・工種の拡大
- ・ 新たな技術の研究開発・活用 (電子基準点の活用 等)
 - ・ 新たに普及を推進する技術・工種の拡大 (NETISとの連携 等)
- 重点目標④ 情報化施工に関連するデータの利活用
- ・ CIMとの連携 (設計や維持管理との連携)
 - ・ 情報化施工に対応した技術基準の整備 (情報化施工の施工データの蓄積)
- 重点目標⑤ 情報化施工に関する教育・教習の充実
- ・ 情報化施工機器を搭載した建設機械等の操作
 - ・ 情報化施工の特徴を活かした施工計画や施工管理
 - ・ 情報化施工用の3次元データの作成
 - ・ 情報化施工機器の設定やメンテナンス 等